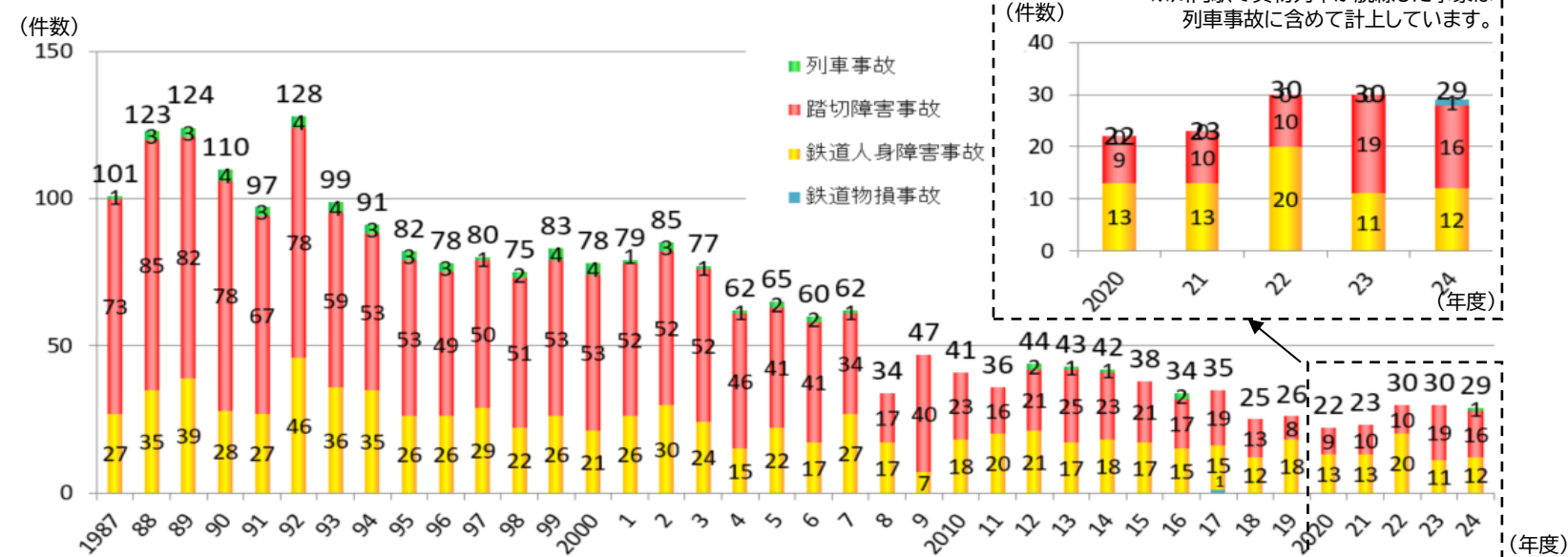


6 鉄道運転事故等の発生状況

6-1 鉄道運転事故

2024年度は、鉄道運転事故が29件発生し列車事故も1件発生しました。



●お客さまが怪我をされた事象

発生日時：2024年4月2日(火) 17時24分頃

発生場所：鹿児島本線 天拝山駅 [福岡県筑紫野市]

概要：跨線橋の外壁材が、木製の下地材の腐朽により支持力を失ったことで剥落し、通過中の下り快速列車に衝突した。衝突により外壁材の破片が飛散し、4名のお客さまが負傷された。

対策：緊急点検を実施し補修した。類似箇所についても補強や交換を実施した。

●川内駅で貨物列車が脱線した事象

発生日時：2024年12月12日(木) 3時3分頃

発生場所：鹿児島本線 川内駅 [鹿児島県薩摩川内市]

概要：下り貨物列車が川内駅発車後に分岐器付近を走行中に横揺れを感じたため停車した。車両の確認を行ったところ、機関車1両、貨車2両が脱線していた。(詳細は調査中)

対策：緊急対策として類似箇所の点検等を実施した。(調査終了後に追加対策実施予定です)

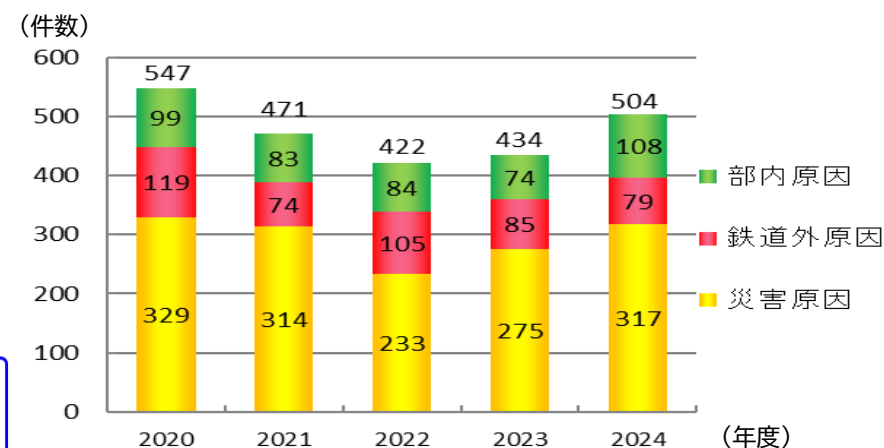
鉄道運転事故

列車事故	： 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故
踏切障害事故	： 踏切道において、列車又は車両が人又は自動車等と衝突し、又は接触したもの
鉄道人身障害事故	： 列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの
鉄道物損事故	： 列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じたもの

6-2 輸送障害

輸送障害とは、鉄道運転事故以外の原因により列車の運休または旅客列車が30分以上、旅客列車以外の列車が1時間以上の遅延を生じたものをいいます。2024年度は504件発生しました。車両の不具合等の増加により部内原因が増加しています。

輸送障害	部内原因	： 鉄道関係員や車両・設備等、当社の直接原因によるもの
	鉄道外原因	： 線路内立入り等、当社の原因によらないもの
	災害原因	： 降雨、強風、地震、獣害等の災害に起因するもの



6-3 インシデント

インシデントとは、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。2024年度は、踏切が無遮断状態のまま列車等が通過した1件のインシデントが発生しました。

●踏切の遮断桿が降下しないまま列車が踏切を通過した事象

発生日時：2024年5月18日(土) 5時54分頃

発生場所：日豊本線 亀川駅 [大分県別府市]

概要：夜間作業において作業のために遮断桿を降下しないよう金具を取り付けていたが、作業終了時に金具を外さなかったため、遮断桿が降下しない状態だった。上り普通列車の運転士が踏切手前で遮断桿が降下していないことを発見し、直ちに非常停止手配をとったが、踏切を行き過ぎて停車した。

対策：定められた手順を守る教育及び手順を分かりやすくする関係規程類の見直しを行った。

6-4 自然災害の発生状況

2024年6月の梅雨前線による大雨や、10月に宮崎県で発生した線状降水帯による大雨の影響により、鹿児島地区および宮崎地区において土砂流入や築堤崩壊などの被害が発生しました。特に日南線では10月22日から運転見合わせを余儀なくされましたが、関係機関との調整や各種復旧工事を進めた結果、12月2日に全線で運転を再開することができました。また、8月末に発生した台風10号の上陸では、大分・鹿児島・宮崎地区を中心に土砂流入や倒木支障、設備浸水などの被害が発生しました。

引き続き、治山・治水の観点から沿線自治体と再発防止に向けた工事を実施するなど、防災・減災に取り組んでいます。

【6月の梅雨前線による被災状況】



指宿枕崎線 土砂流入



線路

【台風10号による被災状況】



吉都線 倒木支障

【10月の線状降水帯による被災状況】



日南線 土砂流入



線路



豊肥本線 土砂流入